



新春のお慶びを

申し上げます

特定非営利活動法人 通院介護センター「さわやか」

理事長 山田 浩美

皆様におかれましては健やかに新しき年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年のお正月は、ことのほか暖かく過ごすことができたのではないのでしょうか。昨年も送迎事業におきましては、ボランティアの皆様のおかげをもちまして、無事故で行うことができましたこと、心より御礼申し上げます。今年の干支は戌年ということですが、正確に言うと戌戌（つちのえいぬ）となります。

戌（つちのえ）は、植物の成長が絶頂期にあるという意味があり、戌（いぬ）はもとほ、滅と書かれており、草木が枯れる状態という意味がありました。

二〇一七年に燃え尽きた灰の中から、新たに芽生えた新たな意味や価値が二〇一八年にグッと成長するのではないかと思われているようです。前向きに地道な努力を重ね、枯れずに成長していきたいと思えます。

昨年も各地で自然災害が多く発生しました。七月に発生した、「九州北部豪雨」は福岡県と大分県に甚大な被害がでました。福岡県と大分県で三十九人の方が命を落とされ、現在も二人の方が行方不明になっています。

それでも、秋には朝倉市や日田市などで、ぶどうや梨、柿などがこの災害にも負けず、多くの実を結び、それぞれの道の駅などに並べられ、多くの観光客方々が、復興の手助けになればと買い求められている姿が大変印象的であり、多くの勇気と生きる力をいただきました。

昨年からは、北九州市障害福祉団体連絡協議会（以下障団連）のなかでプロジェクトを立ち上げ議論を重ね、私も「北九州市障害者差別解消条例に関する有識者会議」に参加させていただいた。障害者差別解消法に基づく北九州市障害者差別解消条例が十二月議会で可決され、十二月二十日に公布されました。

「障害を理由とする差別をなくし誰もが共に生きる北九州市づくり」に関する条例として公布され、一部を除き施行されました。これは障団連が掲げていた、「共生社会のまちづくり」を推進し、更に市民や事業者、それから行政までも広げていくステップになると思えます。

今年も皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、事務局一同がんばっていききたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

あけましておめでとうございます

常務理事 梶原 待子
事務局長 高原 由美
事務局 貞谷 希望

皆様におかれましては素晴らしい年明けとなったことと思えます。

昨年も地震や台風などの様々な自然災害が起こった年となりました。

私たちが住んでいる身近で起きました「平成二十九年七月九州北部豪雨」が、福岡県と大分県を中心とする九州北部で集中豪雨が覆い、甚大な被害が出ました。同じ福岡県民として心が痛む出来事でした。

今年の干支は、「戌年」ですね。また十二支の順番を見ると申年、酉年に続き、今年も戌年退治に向けて仲間が集まります。来年は亥年で突き進むための準備期間ともいえます。

「戌年」には、勤勉で努力家という意味もあるので、何事も一生懸命励んでいきたいと思えます。

また犬猿の中をとりもつてくれた昨年の酉年に感謝し、戌年を乗り越えましょう。

昨年は、本当に健康は大切であることを実感した年となりました。体調を崩すと本当に辛いし、事務局の一人でも欠けると心配でもあり、ある意味大変です。

今年も「さわやか」事務局一同、「健（犬）康第一」で、心穏やかに一年を過ごしたいと思えます。

また、「団結の心」で山田理事長を助けて、事務局みんなで心を寄せ合い一歩ずつ前進していきたいと思えます。

皆様には幸せが「ワンさか」集まりますようにお祈りいたします。

今年も皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈りいたします。

